

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 湘南農業協同組合
要望問題名 種なしピーマンの経済性指標作成について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p>施設トマト等の長期にわたる価格低迷対策に対する有望品目として、当農協管内では令和2年から栽培農家2戸で種なしピーマンの栽培を導入し、作付け拡大を続けてきた。その結果、令和4年現在、栽培農家7戸、面積約60aに拡大し、作型としては促成栽培、半促成栽培で栽培されている。</p> <p>また、通常の種があるピーマンと比較して調理時の作業が容易なため、市場関係者からは生産量の拡大を望まれている。そのため、今後も、施設トマト等の品目から種なしピーマン栽培を希望する生産者が増え、栽培面積の増大が想定される。</p> <p>今後、栽培希望者に対して、導入のための指標が必要となる。そこで、種なしピーマン栽培の経済性指標の作成について検討願いたい。</p>	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 作物別・作型別経済性標準指標の改訂			
対応の内容等 <p>種なしピーマンは、栽培面積が増加していますが、作型や栽培様式がまだ定まっていないことから、現時点では本県での標準的な経営収支及び作業時間を掲載する経済性指標の作成は困難です。</p> <p>しかし、施設トマト価格低迷対策として取り組む品目としての評価は必要だと思われますので、種なしピーマンの経済性については、上記試験研究課題の中で実施します。</p> <p>なお、実施にあたっては、現地の情報やデータ提供について御協力をお願いします。</p>			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			